令和4年度第3回茅ヶ崎市立松林公民館運営審議会会議録

議題	1 令和4年度主催事業の報告について 2 令和5年度松林公民館予算(案)について 3 令和5年度松林公民館主催事業計画(案)について 4 答申について 5 その他
日時	令和5年3月25日(木)14時から15時まで
場所	茅ヶ崎市立松林公民館2階第2会議室
出席者氏名	会長:細田勲 副会長:柴田晴美 小澤雅子、吉原敏明、日比野淳子 事務局:担当課長菊池修 副主査 竹松真理子
会議資料	・資料1 令和4年度松林公民館事業報告 ・資料2-1 令和5年度歳入予算(案) ・資料2-2 令和5年度歳出予算(案) ・資料3 令和5年度事業計画(案) ・資料4 答申案
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	—
傍聴者数	0人

◎事務局

ただいまより、令和4年度第3回茅ヶ崎市立松林公民館運営審議会を開催いたします。

本日欠席者が2名おりますが、本日の会議は、茅ヶ崎市立公民館条例施行規則第13条第2項の開催要件である過半数以上の委員の御出席をいただいておりますので、審議会を開催させていただきます。なお、本日傍聴のお申し出はございません。

次に、本日配布した資料の確認をいたします。

配布資料は

- ・資料1 令和4年度松林公民館事業報告
- ・資料2-1 令和5年度歳入予算(案)
- ・資料2-2 令和5年度歳出予算(案)
- ・資料3 令和5年度事業計画(案)
- ・資料4 答申案

が卓上配布したものです。

・追加資料として 日比野委員より答申案の修正案

以上、6つの資料を配布しております。過不足ありませんでしょうか。

それでは議事進行につきましては、茅ヶ崎市立公民館条例施行規則第13条第1項に基づき、細田細田会長に議事進行をお願いいたします。

◎細田会長

欠席連絡もらっていない方がおりますが、定刻となりましたので、始めさせていただきます。マスクなしでの生活が解禁となりましたが、もうしばらくマスクが必要と思います。本会議もマスク着用でお付き合いください。

これより、議事を進めてまいります。この会議は公開となっております。会議録を作成するにあたりまして、「茅ヶ崎市附属機関及び懇談会等の設置及び会議の公開等運営に関する要綱」により、委員に確認し記録を残すことになっております。確認については、細田会長一任としてよろしいでしょうか。

◎委 員 (各委員賛同)

◎細田会長

それでは、「議題1、令和4年度主催事業の報告について」、事務局説明を願います。

◎事務局

それでは、議題1 令和4年度主催事業の報告についてご説明いたします。資料1をご覧ください。

主催事業については、12月以降も引き続き、対面およびZ o o mによるオンライン講座を開催してまいりました。資料1の12月～3月までが太枠で示されている箇所が、前回の報告以降に開催された講座となります。全部で64講座になり、Z o o mによるオンライン講座については、今年度共催も含め5講座開催となりました。

Z o o mによる講座として開催したものを一部ご紹介いたします。

資料1 2家庭教育支援の項番6「5館連携事業 スマイリングママサロン」を6月と3月に開催しました。参加者は、産後ママとそのお子様です。10月は、残念ながら中止となりましたが、3月は4組の参加があり、6月に比べ少ないもののその分講師の目が行き届き、会話やフォローも適切に行われました。授乳やおむつ替え等で画面から外れる方への配慮が難しい点が課題として挙げられましたが、この反省を生かしながら、次年度は対面での事業を進めていきたいと考えています。

対面とZ o o mによるハイブリッド型の講座として、4地域課題解決等事業の項番21の「博物館連携 おやこDOK I DOK I 土器講座」は博物館とデジタル田園都市国家構想推進事業で整備されたW i F i を利用し、公民館にいながら博物館の学芸員と中継を繋ぎ、博物館内の紹介や土器を利用していた時代について学ぶ機会を創出しました。親子で対面16組、Z o o m 10組の参加があり、お子さんはもちろん親御さんも興味津々で聴講されていました。講座内で行った土器づくりでは、博物館にも協力いただき、お子さんの作品を春休み期間中展示し、博物館への来館と更なる地域への関心へと繋げることができました。博物館への来館者数も増えていると伺っております。

主催事業の報告については以上です。

◎細田会長

事務局より説明が終わりました。何か質問はございますか。

◎委員 (質疑応答・意見) 特になし

◎細田会長

では(他に)質問やご意見が無ければ次に移ります。「議題2、令和5年度松林公民館予算(案)について」、事務局説明を願います。

◎事務局

それでは、議題2令和5年度松林公民館予算(案)についてご説明いたします。

資料2-1及び資料2-2をお手元にご用意ください。

令和5年度予算につきましては、市の令和5年度予算編成方針により、新たな実施計画の初年度として、本市のポテンシャルを生かす、人の交流とにぎわいを取り戻す、市民ニーズを踏まえ社会課題に対応する、この3つの方向性を重点戦略に掲げ、世代間バランスがとれたすべての世代の市民が暮らしやすさと幸福感を感じることできるまちを目指し事務事業を推進していくこととしております。

では、資料2-1令和5年度歳入予算(案)内訳表をご覧ください。

歳入につきましては、財産収入と諸収入及び市債でございます。

款17財産収入につきましては、自動販売機の建物貸付収入でございます。132,000円を見込んでおります。(3年度実績165,000円)

款21諸収入につきましては、自動販売機の電気使用に伴う電気料(3年度実績27,175円)と、印刷及び複写費用の自己負担金(3年度実績75,540円)の教育費雑入でございます。

教育費雑入につきましては、136,000円を見込んでいます。

款22市債につきましては、松林公民館電気設備改修工事にかかる社会教育債でございます。9,600,000円を見込んでおります。(3年度実績0円)

次に資料2-2 令和5年度事業別歳出予算(案)をご覧ください。歳出につきましては、表中最上部区分欄の左側から010公民館運営審議会委員経費、020業務管理経費、030施設維持管理経費01施設維持管理経費、030施設維持管理経費02予防保全事業費、040公民館活動費、050新型コロナウイルス感染症対策事業費の6つの経費からなっております。表左側の縦1列目の区分01報酬から下において19負担金補助及び交付金までありまして、それぞれが二段書きになっております。上段が令和5年度、下段が令和4年度予算でございます。

010公民館運営審議会委員経費につきましては、総額146,000円で令和4年度と比較し、84,000円の減額となっております。予算の主な内訳について説明いたします。

01報酬140,000円は、委員の審議会出席に伴う年2回分の報酬及び県内で開かれる研修会等への参加報酬でございます。

09旅費6,000円は、県内で開かれる研修会等の旅費でございます。

公民館運営審議会委員経費の説明につきましては、以上となります。

次に、020業務管理経費につきましては、総額9,944,000円で令和4年度と比較し、550,000円の増額となっております。主な理由といたしましては、会計年度

任用職員制度により、社会教育嘱託員及び夜間管理業務員が継続任用により昇給するための報酬等の増額が挙げられます。

内訳を見ていきますと、01報酬05会計年度任用職員報酬7,820,000円及び03職員手当等17会計年度任用職員期末手当1,270,000円を計上いたしました。

続きまして、09旅費45,000円につきましては、社会教育嘱託員及び夜間管理業務員の通勤に伴う交通費及び社会教育嘱託員の研修等参加旅費の費用弁償となります。昨年度と同額となっています。

11需用費をご覧ください。こちらは01消耗品費（公民館の業務管理に係る消耗品が中心）、02燃料費、06修繕料（公用車の車検の関係）の合計287,000円となっており、22,000円の減額となっております。

次に、12役務費の421,000円につきましては、令和4年度と比較しまして、240,000円の増額となります。増額の要因といたしましては、隔年実施の公用車の車検、令和4年度に設置いたしましたW i f iの光回線使用料及びプロバイダ利用料が増えたためです。内訳を見ますと、01通信運搬費357,000円は電話代及びW i f i関係経費で、03手数料64,000円はグランドピアノ調律、公用車の24か月点検手数料などに要するものでございます。

次に、14使用料及び賃借料93,000円は、印刷機のリース料及びNHK放送受信料となります。

また、19負担金補助及び交付金8,000円は、人事異動により新館長となった場合の防火管理者講習会受講料を計上したものでございます。業務管理経費の説明につきましては、以上となります。

次に、030施設維持管理経費01施設維持管理経費につきましては、総額2,951,000円で、令和4年度と比較し、1,356,000円の増額となります。主な増額理由といたしましては、光熱水費は原油価格の高騰による電気料の上昇によるもの、と修繕料は法に基づくP C B含有疑いコンデンサ交換及び移動運搬修繕を行うことによる増額でございます。それでは、内訳についてご説明いたします。

05光熱水費2,012,000円につきましては、令和4年度に比較し、1,144,000円の増額となります。

06修繕料の390,000円は、令和4年度に比べ209,000円の増額となります。次に、12役務費05火災保険料13,000円は令和4年度に比較し、3,000円の増額となります。

13委託料536,000円につきましては、令和4年度と同額で、公民館の機械警備委託契約、高木の剪定委託となります。

施設維持管理経費の施設維持管理経費の説明は以上となります。

次に、030施設維持管理経費02予防保全事業費につきましては、総額10,437,000円で、令和4年度にはなかったものでございます。

15工事請負費10,437,000円につきましては、「予防保全実施計画2025」に基づき行う維持保全工事で、松林公民館が開館から40年近く経過しており、耐用年数が経過している電気設備改修工事を行う経費となります。

施設維持管理経費の予防保全事業費の説明は以上となります。

040公民館活動費につきましては、公民館における主催事業に関する経費として883,

000円を計上してございます。令和4年度と同額となります。

それでは、内訳についてご説明いたします。08報償費642,000円は講座実施に伴う講師謝礼代でございます。11需用費91,000円は、講座実施に伴う消耗品費でございます。13委託料150,000円は、公民館まつり委託料でございます。全て、令和4年度と同額でございます。公民館活動費の説明は以上となります。

050新型コロナウイルス感染症対策事業費につきましては、総額77,000円で令和4年度と比較し、11,000円の減額となっております。内訳について説明いたします。

11需用費77,000円につきましては、国の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、感染拡大防止の対策として、アルコール消毒液等の感染防止用品を購入するための消耗品費として77,000円を計上してございます。

以上が6つの細々目の説明となります。

令和5年度の松林公民館予算全体といたしましては、24,438,000円となり、令和4年度と比較し、12,248,000円の増額となります。

令和5年度予算についての説明につきましては、以上でございます。

◎細田会長

事務局より説明が終わりました。何か質問はございますか。

◎委員 (質疑応答・意見) 特になし

◎細田会長

では(他に)質問やご意見が無ければ次に移ります。「議題3、令和5年度松林公民館主催事業計画(案)について」、事務局説明を願います。

◎事務局

それでは、議題3令和5年度松林公民館主催事業計画(案)についてご説明いたします。資料3をご覧ください。

資料3の令和5年度事業計画についてご説明いたします。

令和5年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況に注意を払いながら4月当初から対面による通常での形で主催事業を企画しています。また、4年度に整備したWi-Fi環境を利用した5館連携による事業も企画し、コロナ禍で培ったオンライン会議のツールを使った手法も織り交ぜて、多様な参加者層に対して開催していく予定です。

1 子ども事業については、全20講座を企画しております。令和5年度に新しく企画しているものとして、8番目の「小学生プログラミング講座」があります。民間企業のキータ様に社会貢献活動としてご協力いただき、小学生の子どもたちにプログラミングを学んでもらうというものです。

15番目の「献立のない料理教室は」は買い物から献立まで自分たちで考えて料理するというもので食育、子どもの自主性を促すことを目指しています。

2 家庭教育支援関連事業については、全16講座を企画しております。6番目の「子育てホッとスペース」は、令和4年度までは「子育てフリースペース」の名称で実施していたもので、絵本や手遊びを親子で見ると体験し、子育てのサポートをすることを目的としたものです。12番目の「スマイリングママサロン」は、令和4年度までは5館連携事業で行っていましたが、単館での事業として、産後ケアとして、体操や栄養、ホルモン balan

スについて学ぶ講座となっております。

3 シニア事業については、全11講座を企画しております。8番目の「口腔ケア（5館連携）」は花王グループカスタマーマーケティング㈱との公民連携及び5館連携事業で、シニアのための正しい口腔ケアを学ぶ講座となっております。松林公民館では対面、他4館はオンラインでつなぎサテライト会場としてリモートにて同時開催をするものでございます。10番目の「Zoomの使い方講座」は、令和4年度までは、5館連携事業として実施しておりましたが、単館での事業としてデジタル・ディバイド解消のためシニア世代のオンラインデビューを促進することを目的としております。

4 博物館連携事業は、全1講座を企画しております。実施内容は検討中ですが、令和4年度に開館した茅ヶ崎市博物館と連携した事業を実施することで、双方の利用者層拡大を図るとともに、同じく4年度に整備したWifiを有効活用した事業手法により実施するものでございます。

5 地域課題解決等事業は、全25講座を企画しております。中でも、15番目の「大山街道（街歩き）」はコロナ前の令和元年12月に大山を目指して史跡をめぐりながら歩く講座としてスタートしましたが、その後、コロナ禍で中断していました。令和4年度より再開し、第2回、第3回と実施し伊勢原駅まで到達しており、5年度は、2回に分けてゴールの大山を目指します。

次に、6 学習成果活用・学習情報提供事業は、全12講座を企画しております。1番目の「春の山野草展」は、公民館利用団体である「茅ヶ崎山草会」との共催事業で、学習成果の活用、地域交流を図ることを目的とした講座で、春は、公民館で開催する以外にも、5番目の「春の山野草展プラザ」として、市役所の1階市民ふれあいプラザでの開催を予定しております。

簡単ではございますが説明は以上です。よろしく願いいたします。

◎細田会長

事務局より説明が終わりました。何か質問はございますか。

◎委員 (質疑応答・意見) 特になし

◎細田会長

では(他に)質問やご意見が無ければ次に移ります。「議題4、答申について」を議題とします。令和5年3月7日付で事前配布した答申案は、2月16日付で、各委員の皆さまへ答申素案をお送りし、2月26日までに答申素案に対する意見を提出していただき、その意見を反映して答申案としてまとめたものです。

◎細田会長

日比野さんより答申案について、修正の希望が入っております。後ほど説明いただきますが、5分ほどお時間をお取りして、各自ご一読願います。40分再開いたします

◎委員 (答申案内容を一読)

◎細田会長

時間となりましたので、始めたいと思います。日比野さんの修正以外の答申案から確認します。

◎日比野委員

1 ページ目の8行目の途中からの鍵かっこをどこでとじるのか。わかりにくいので、どこまででしょうか。

◎吉原委員

鍵かっこの形を変えるということですね。字句訂正をお願いします。

◎日比野委員

3 ページ目 「シニアの感心は…」を「シニアの関心は…」に修正をお願いします。

◎細田会長

あとはいかがですか？

◎日比野委員

答申案の5 ページ目下段の⑥の部分ですが、より詳しい説明が必要と前回指摘を受けましたので、一部内容変更したいと思っています。

◎細田会長

皆様いかがでしょうか。

◎細田会長

では、本日いただいたご意見を加味し、細田会長一任で字句等整理し最終版とし、松林公民館への答申ということで完了にしたいと思います。

◎委 員 (各委員賛同)

◎細田会長

それでは次に移ります。「議題5、その他」について、委員の皆さま、事務局から何かございますか。

◎事務局

3点ございます。

1点目は、松林公民館まつりでございます。去る3月18日(土)、19日(日)の2日間で開催いたしました。

おかげさまで滞りなくプログラムを実施することができ、模擬店は実施しなかったものの1,500人の方々にご来場をいただき、令和5年度へつなぐことができたまつりとなりました。ひとえに本審議会委員の吉原実行委員長はじめ多くの方々のお力添えによるものと感謝しております。ありがとうございました。

2点目は、3月の市議会定例会にて、公民館の補正予算 案1件が審議されました。原油価格の高騰による電気料金の上昇等に伴い、施設維持管理経費の光熱水費を299,000円増額するものです。

3点目は、議題2にて、ご説明いたしました令和5年度予算で電気設備改修工事について予算化され、工事を実施する運びとなりますが、6月頃に入札を行い7月に契約締結となりますが、非常放送アンプ、火災報知受信機の製作に2～3か月程かかることから、実際の施工は11月頃となる予定でございます。また、工期については、2週間程かかり、休館を伴うものとなります。工期が具体的に決まり次第、利用者の皆様に周知を行い実施いたします。

説明は以上になりますが、委員の皆様におかれましては、任期の2年間、コロナ禍の中、答申を含め様々なご意見をいただき、公民館運営にご理解ご協力をいただきましたことに対しまして、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

事務局からは以上となります。

◎細田会長

ありがとうございました。他に何かございますか？

◎細田会長

最後になりますが、これからコミセンの開設に向けて、いよいよ動き始めますが、公民館とコミセンができるということでは、相乗効果が求められる、まちぢから協議会としては、そういう研究をすでに始めております。

やはり、地域に一番必要なのは、心のよりどころ。公民館では、かなりその部分をカバーしていただいた。コミセンができることで、よりそこがカバーできると思っています。今後に期待したいと思います。

本日はありがとうございました。